

三河武士のやかた家康館

令和2年度上半期企画展示予定

特別展示室 及び 1階展示室		
会期		展覧会名称
始	至	
令和2年 4月18日(土)	6月28日(日)	日本刀押形展 ～幽玄美の世界～
展示概要	<p>日本刀押形とは刀剣の姿形を紙に押し当てて写しとり、刃文を精密に描写した記録資料です。押形の歴史は古く、室町時代に偽銘に関する知識を後世に伝えるために、茎(なかご)と銘を写生したものが始まりといわれています。その後、戦国時代や江戸時代には権力者が自分の愛刀を他者に広く見せるため、また日本刀の研究を目的としてたくさんの押形が作られてきました。現代では研究資料として作られることはもちろん、魚拓や拓本のように鑑賞の対象にもされる写実文化となっています。しかしながら、押形を制作するためには日本刀の玄妙な刃文を見極める「鑑識眼」と、それを精確に紙に書き写す「技」が必要で、卓越した技量を見せる作品はそれほど多くありません。</p> <p>この展覧会では、日本美術刀剣保存協会岐阜県支部の協力のもと、本団体が制作、所蔵している押形を鑑賞用に整えて紹介するとともに、押形の対象となった名刀と(一部を除く)見比べながらお楽しみいただける展示となっております。高度な技術を以って作られた押形の、写真では捉えきれない景色をご覧いただき、幽玄の世界に興じていただければ幸いです。</p>	
7月4日(土)	9月13日(日)	館蔵品にみる日本刀展
展示概要	<p>三河武士のやかた家康館では、昭和57年(1982)11月の開館以来、これまで多種多様な歴史資料を保存・収集してまいりました。とりわけ武器・武具類の収集には注力しており、館蔵品の多くの数を占めます。本展覧会は武器・武具類の中でも、あらゆる世代層から高い人気を誇る「日本刀」にスポットを当てて展示するものです。中世矢作宿で活動した薬王寺派をはじめ、新刀期に美濃国関から移住した三河刀工の作品や、各地で作刀された名品を、館蔵品の中から厳選して出品し、テーマごとにわかりやすくご紹介いたします。また、一部地元の愛刀家の方による特別出品資料も併せてご覧いただけます。</p> <p>今回の展示を通して、一振りとして同じもののない日本刀それぞれが語る歴史や、その姿・地鉄・刃紋の美しさを、多くの方々に感じ取っていただければ幸いです。</p>	
9月19日(土)	11月8日(日)	岡崎城跡出土品展Ⅱ
展示概要	<p>岡崎市では「岡崎城跡整備基本計画」に基づき、岡崎公園を中心に総構えも含めた「岡崎城跡」の発掘調査を積極的に進めています。本展覧会は平成29年に開催した「岡崎城跡出土品展」の第2弾であり、前回の展覧会以降に行われた発掘調査の成果と、調査によって出土した資料を中心に紹介いたします。</p> <p>本展覧会が、岡崎城跡の発掘調査に対する興味関心を持つきっかけとなり、併せて史跡文化遺産への保存にご理解を深めていただく場となれば幸いです。</p>	
11月9日(月)	令和3年 3月19日(金)	全館休館(改修工事)予定

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

入場料：大人(中学生以上)360円・小人(5歳以上)200円

休館日：年末(12月29日～12月31日)

※令和2年度は令和2年11月9日(月)～令和3年3月19日(金)に工事休館を予定しています。

※各企画展の詳細については内容が決定し次第、ホームページ等で随時公表していきます。

※都合により企画展のタイトルを含めた内容及び会期を変更する場合がございます。ご了承ください。

三河武士のやかた家康館